

図 4-4 令和 4 年度のノヤギ捕獲地点

#### 4.1.5 捕獲後モニタリング調査

捕獲作業前モニタリングと同様の手法により、捕獲作業後にもモニタリングを継続した。

捕獲作業前（8月から9月）の撮影結果と、捕獲作業後の（10月14日から1月）の撮影結果を以下に示した（表 4-2、図 4-5、図 4-6）。

捕獲作業後は、ノヤギが 36 地点中 1~6 地点で撮影され、最大撮影個体数は 2 個体（成獣 1 個体と亜成獣 1 個体）であった。捕獲作業後に撮影された 2 個体は、体の模様等から全て同一個体であると考えられた。なお、撮影個体の個体識別については、現段階では体の模様、角の大きさ、ひげの長さにより識別できる場合もあるが、それらが不明瞭な場合は難しい状況である。

表 4-2 捕獲作業前後のノヤギの撮影状況

期間	月	ノヤギ撮影地点数				撮影地点 割合	ノヤギ 撮影枚数	合計稼働 日数	撮影率	最大撮影 個体数
		成獣	亜成獣	不明	総計					
捕獲前	8	12	2	0	12	37.5%	75	235.4	31.9	4
	9	13	8	2	13	36.1%	427	970.5	44.0	5
捕獲期間（10/3-10/14）* 6個体捕獲（成獣オス3個体、成獣メス2個体、亜成獣メス1個体）										
捕獲後	10	2	3	0	4	11.1%	14	594.0	2.4	2
	11	6	5	0	6	17.1%	44	1,050.0	4.2	2
	12	6	4	3	6	17.6%	50	1,085.0	4.6	2
	1	1	1	0	1	2.8%	2	953.0	0.2	2

※撮影率は100撮影日数あたりの撮影回数を示す。

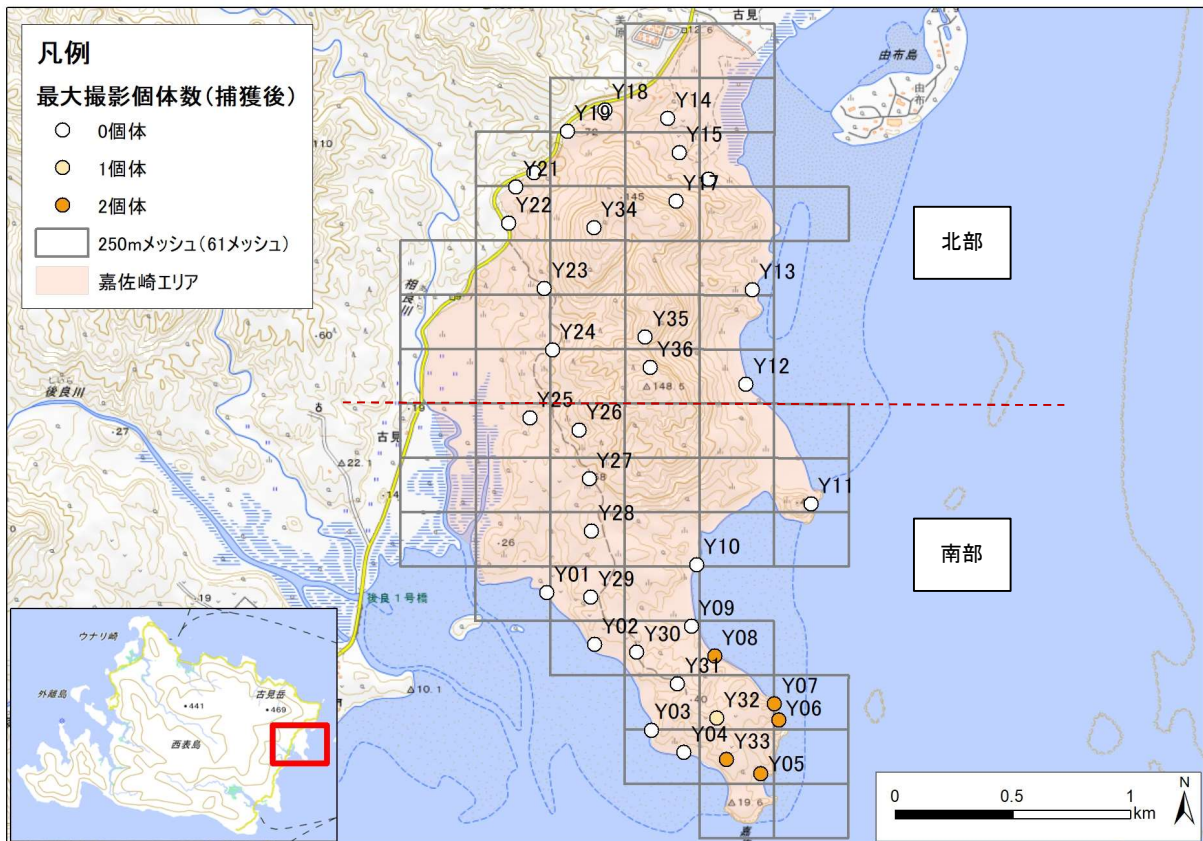


図 4-5 捕獲作業後のノヤギ撮影地点



図 4-6 嘉佐崎エリアで捕獲作業後に撮影されたノヤギ

#### 4.1.6 今後の展開

令和4年度沖縄県外来種対策事業において2月9日に開催された外来種検討委員会で、ノヤギを対策種から重点対策種へカテゴリー変更することが了承された。

次年度は、ノヤギ防除計画に基づき、西表島及びびやんぼる地域において、これまで調査が実施されていないエリアを対象としてノヤギの生息状況を調査し、全域での生息状況を把握した後、両地域における捕獲計画を策定し、捕獲事業を開始することを予定している。

#### 4.2 ノヤギ以外の外来哺乳類の侵入・定着状況

沖縄県対策外来種リストでは、生態系への影響が大きい哺乳類として二ホンイタチを含む5種が重点対策種として掲載され対策が実施されており、その他に対策種5種、重点予防種1種、予防種26種が定められている(表4-3)。リストに定める重点予防種や生態系への影響が大きい哺乳類の侵入・定着が確認された場合は、必要に応じて捕獲等の緊急的な防除の検討等を実施するものとしたが、今年度は外来哺乳類の新たな侵入・定着に関する情報は確認されなかった。

表4-3 沖縄県対策外来種リスト(哺乳類)

1) 防除対策外来種(沖縄県に定着しており、生態系に影響があると考えられる外来種)					
①重点対策種(5)					
科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
イヌ	ノイヌ(イヌの野生化したもの)	<i>Canis lupus</i>	○		重点対策外来種
イタチ	二ホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>	○		緊急対策外来種
マンブース	フイリマンブース	<i>Herpestes auropunctatus</i>	○	●	緊急対策外来種
ネコ	ノネコ(イネネコの野生化したもの)	<i>Felis silvestris catus</i>	○		緊急対策外来種
イノシシ	二ホンイノシシ(イノブタを含む)	<i>Sus scrofa leucomystax</i>	○		重点対策外来種
②対策種(5)					
科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
ウサギ	カイウサギ(アナウサギ)	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	○		重点対策外来種
ネズミ	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	○		重点対策外来種
	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	○		重点対策外来種
	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	○		緊急対策外来種
ウシ	ノヤギ(ヤギの野生化したもの)	<i>Capra hircus</i>	○		緊急対策外来種
2) 定着予防外来種(沖縄県では未定着であり、定着を予防すべき種)					
①重点予防種(1)					
科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	△	●	緊急対策外来種
②予防種(26)					
科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
クスクス	フクロギツネ	<i>Trichosurus vulpecula</i>	×	●	その他の定着予防外来種
ハリネズミ	ハリネズミ属(アムールハリネズミ(マンシュウハリネズミ)など)	<i>Erinaceus spp.</i>	×	●	重点対策外来種
オマキザル	リスザル	<i>Saimiri sciureus</i>	△		その他の総合対策外来種
オナガザル	タイワンザル	<i>Macaca cyclops</i>	×	●	緊急対策外来種
	カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	×	●	緊急対策外来種
リス	クリハラリス(タイワンリス)	<i>Callosciurus erythraeus</i>	×	●	緊急対策外来種
	フィンレイソリス	<i>Callosciurus finlaysonii</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	タイリクモモンガ	<i>Pteromys volans</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	トウブハイロリス	<i>Sciurus carolinensis</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	キタリス	<i>Sciurus vulgaris</i>	×	●	緊急対策外来種
	シマリス(チョウセンシマリス)	<i>Tamias sibiricus</i>	△		重点対策外来種
ネズミ	マスカラット	<i>Ondatra zibethicus</i>	×	●	重点対策外来種
ヌートリア	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	×	●	緊急対策外来種
アライグマ	カニクイアライグマ	<i>Procyon cancrivorus</i>	×	●	その他の定着予防外来種
イタチ	フェレット	<i>Mustela Mustela furo</i>	△		その他の定着予防外来種
	チョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	×		重点対策外来種
	アメリカミンク(ミンク)	<i>Neovison vison</i>	×	●	重点対策外来種
ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	×		重点対策外来種
	マンブース	ジャワマンブース	<i>Herpestes javanicus</i>	×	●
シカ	シママンブース	<i>Mungos mungos</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	アキシスジカ(アクシスジカ)属	<i>Axis spp.</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	シカ属(ケラマジカを除く)	<i>Cervus spp.</i>	△※	●	重点対策外来種
	ダマシカ属	<i>Dama spp.</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	シフゾウ	<i>Elaphulus davidianus</i>	×	●	その他の定着予防外来種
キョン	キョン	<i>Muntiacus reevesi</i>	×	●	緊急対策外来種

※タイワンジカ(ハナジカ) *Cervus nippon taiouanus* の侵入記録あり